

オンデマンド配信による秋の講演会開催

10月29日（土）～ 11月6日（日）に「秋の講演会」がありました。今回も講演会動画を YouTube で限定公開し、オンデマンド配信によって、各自、好きな場所で好きな時間に研修を受けました。また、質疑応答についてはアンケートを通じて、後日返答していただく形でおこなっています。第80号では、みなさんからお寄せいただいたアンケートから、感想を紹介します。

「合理的配慮をテーマにした教育実践

－当事者研究の実践から－

国立大学法人 宮城教育大学 教育学部 教授

松崎 丈 先生

参加者の感想

- 当事者研究は自立活動で取り組んできた障がい認識の授業のすすめ方と同じだが、どちらかと言うと経験に基づいて指導内容を考えてきたものであったので、研究と言う形で進め方のプロセスがまとまっておらず、納得しながら聞きました。現在、担当している聴覚障がい生徒とぜひ、取り組みたいと思いつつ、私なら、どう進めようかと考えながら聞き、あっという間の講演でした。聴覚障がいだけでなく、生きづらさを抱えている人誰にでも使えるものとして、他の障がい種別の先生方とも共有したい内容でした。
- 松崎先生の研究されている当事者研究は、ろう学校で子どもたちと関わる教師として新鮮な内容でした。自立活動で行っている内容について、教師からの知識の押し付けになっていないか？子どもが自分で考えて解決していく力を培っているのか？問い直して今後の授業を組み立てていきたいと思いました。
- 障がい認識に関する事例紹介は、とても分かりやすかったです。合理的配慮や基礎的環境整備についても詳しく整理されていて、改めて考え直すきっかけになりました。中・高等部生に対する自立活動内容の一つ「障がい認識」について、医学モデルと社会モデルが大きく影響されていること、聴者が多数の聾学校における障がい認識を扱う授業にどのような工夫ができるのか、教員自身もまず、意識しなければならないのではないかと思いました。
- 弱さや困りごとを「なくてはならない、大切なもの」ととらえること、社会モデルに基づいた聞き方、解決を求めるのではなく困りごとそのものを分かち合い対話していく関係性が非常に印象に残りました。

- 子どもへ困りごとを聞く際の、自分の問いかけ方にハッとして反省することが多々ありました。当事者目線でのお話から、発展の仕方を学ぶ良い機会になりました。
- 聴覚障がい者と関わる経験が浅く、合理的配慮の中には先回りして考えていることや医学モデルの考えもあったと反省しました。当事者の意思の表明や社会モデルの考えを大切にしたい考え方に意識を向けて行動しようと思います。人工内耳を外した時の対処法、象徴あそびなど考えるべき課題がたくさんあり、とても参考になりました。ありがとうございました。
- 自分も耳が生まれつき聞こえず、高等部で自立活動を担当しております。授業「自立活動」のなかで困りごとに対してどう対処するか「作戦会議」を進めておりました。しかし、どこかで限界を感じる事があり、その限界とは何かをずっと考えておりました。それは、耳の聞こえない立場からの一方的な見方の中での作戦であり、聴者の立場からの見方が欠けていたこと、さらに聴者とどう話し合うかというプロセスが欠けていたことを今回の講演で知る事ができて霧が晴れたように思いました。また、自分も様々な困りごとは自分の問題であると刷り込まれていることも改めて感じました。最終的にはお互いにエンパワメントされて行くといいなと希望が持てるようになりました。
- ろう教育の教員は医学モデルで考えがちだという話に身につまされました。今後は社会モデルで自立活動を行っていかうと思いました。当事者の困りごとは解決策を出さなければ終わりにならないと思いましたが、そうではなく困り感を話して当事者の中で消化していく過程が大事だということがわかりました。
- 初歩的なことから、実際の内容まで、細かく丁寧に講義いただき、とても勉強になりました。実際に先生が聞こえなくて困った経験、医学モデルと社会モデルなど、聴者だけでは考えられない考え方も知ることができました。考え方一つでこんなにも変わるのかと、驚きました。今回学んだ考え方を忘れず、今後も聴覚障がいの方々と関わっていきたく思いました。ありがとうございました。
- 話したいと思える信頼関係づくり、社会を知る機会、考えを自分なりに表現する機会をつくること、頑張っていていきたいです。

感想の他にも、質問をいただいています。お寄せいただいた質問は、講師の松崎丈先生から回答をいただき、本会ホームページの限定サイトにて公開いたします。ありがとうございました。

今後の予定

- (令和5年) 1月27日(金) 第3回代表委員会 (Zoom)
1月28日(土) ~ 2月5日(日) 冬の学習会 (オンデマンド配信)

講師 内藤 泰 先生 (神戸市立医療センター中央市民病院
耳鼻咽喉科参事・総合聴覚センター長)
テーマ 『こどもの難聴と人工内耳ー総合聴覚センターの取り組みー』

3月下旬集録第23号発行、機関紙81号発行

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

〒540-0005

大阪府大阪市中央区上町1丁目19番31号

大阪府立中央聴覚支援学校内

TEL: 06-6761-1419

FAX: 06-6762-1800

メール: kinkieaa@gmail.com